



第34回全国中学生空手道選手権大会 出場 左から、団体組手 千葉 優衣(中田中3年)、団体・個人組手 鎌田 璃音(3年)、団体・個人組手 保科 希咲(2年)

全国大会の団体ではベスト16でした。もっと上に行けると実感できたからこそ、あと一歩届かなかったことがすごく悔しかったです。ここまで頑張ることができたのはいつも支えてくれる皆さんのおかげです。感謝の気持ちを忘れずこれからも努力していきます。



令和8年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会 出場

熊谷 煌羽(登米総合産業高3年)
高校最後の大会だったので、一つ一つの技のレベルを上げる練習をしました。力を出し切れたので後悔のない試合ができました。



第26回全日本少年少女空手道選手権大会 個人組手 出場 後列左から、鎌田 百希(浅水小6年)、境 燦太(石森小6年)、千葉 瑛太(6年)、前列左から、及川 ころ(浅水小3年)、石川 凜仁(北方小3年)、境 紘太(石森小4年)

得意な技を生かし、最後まで諦めずに戦うことができました。これからもいろいろな大会があるので、一生懸命練習を頑張って良い成績を残せるようにします。

第26回全日本少年少女空手道選手権大会 組手 出場 佐々木 美亜(豊里小5年)

スタミナが無いので、大会に向けて体力強化からやり直しました。当日は思ったような動きができなくて悔しかったですが、来年こそは上位入賞を目指して頑張ります。



第26回全日本少年少女空手道選手権大会 組手 出場 菅原 凜音(豊里小2年)

全少に出場するために家でも練習しました。全国大会は、今までにないくらい緊張して思い通りにできませんでしたが、次の大会でも代表になれるように頑張ります。



第35回全国小学生バドミントン大会、第27回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会 出場

千葉 凜桜(東郷小6年)
決勝リーグまで進むことができましたが、今の自分に満足せずに、仲間と共に日々の練習を頑張ります。



第28回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会 出場 後列左から、田口 くれは(飛鳥未来きずな高2年)、及川 望愛(2年)、佐々木 心夢(2年)、前列左から、名生 陽(3年)、高橋 亜夢(2年)

大会では、それぞれが自分らしく試合に挑めたので良い経験になりました。これからも個人の技術向上に向けて日々練習に励み、強みを増やしていきます。



オールジャパンベースボールリーグ中部部 2026全国大会 出場 登米spirits軟式野球クラブ

全国大会は、どのチームも闘志が表れていて、練習に取り組む姿勢やレベルの高い野球、守備など多くのことを学ぶ良い経験になりました。高校野球ではさらに球速が求められるため、努力を続けて高校でも精一杯頑張ります。



令和8年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会 出場

左から、及川 那通(登米総合産業高2年)、佐竹 鈴士朗(2年)、齊藤 将生(2年)、只野 大騎(2年)

初めてのインターハイ出場で、新たな経験がたくさんできました。来年も出場を目指して部員全員で良い所を伸ばし、お互いにアドバイスを交わしながら高め合っていきます。



第64回全日本学生アーチェリー個人選手権大会 出場 千葉 優花(東北学院大2年/東和町)

自己ベストには届きませんでしたが、最後まで一射一射丁寧に射ることができました。次の大会に向けて日々精進していきます。



NPBガールズトーナメント2026全日本女子学童軟式野球大会 出場

小野寺 琴音(宝江小6年)

大会前にけがをしましたが手術とリハビリを乗り越え出場しました。この経験を糧にさらに成長できるよう頑張ります。

第57回全国中学校柔道大会 出場

館野内 ひかる(豊里中2年)
大会に向けて、相四つの相手だけでなく、けんか四つの相手の組手対策とランニングを頑張りました。全国大会の経験を生かし、もっと強くなりたいです。



第50回全国高等学校総合文化祭あきた総文2026 美術・工芸部門 出展 大場 朱璃(佐沼高3年)

文化部にとって目指すべき舞台に立てたことを心より光栄に思います。開会式では県代表で決意表明を発表し貴重な経験となりました。



第42回成田山全国読書大会 推薦日輪賞 小野寺 一花(中田中3年)

お手本をよく観察して練習を重ねました。これからも字の美しさに磨きをかけ、高校を卒業するまでに、より大きな賞が取れるように頑張っていきます。

